

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：沖縄総合事務局道路建設課
担当課長名：松浦利之

事業名	村道中央残波線	事業区分	地方道	事業主体	読谷村
起終点	自：沖縄県中頭郡読谷村字喜名 至：沖縄県中頭郡読谷村字波平			延長	2.3 km

事業概要
村道中央残波線は、国道58号を起点とし、一般県道6号線を終点とする延長約3.1kmの主要な道路であるほか、読谷補助飛行場跡地利用計画（返還軍用地跡地利用計画）の骨格をなす重要な路線である。

本事業は、地域高規格道路「沖縄西海岸道路（読谷道路）」から県道6号線までの延長2.3kmの4車線道路（暫定2車線）である。

事業の目的、必要性
村道中央残波線は、幹線道路へのアクセスや周辺市街地における交通円滑化を図るとともに、返還軍用地跡地利用計画を支援し、地域振興に大きく寄与するものである。

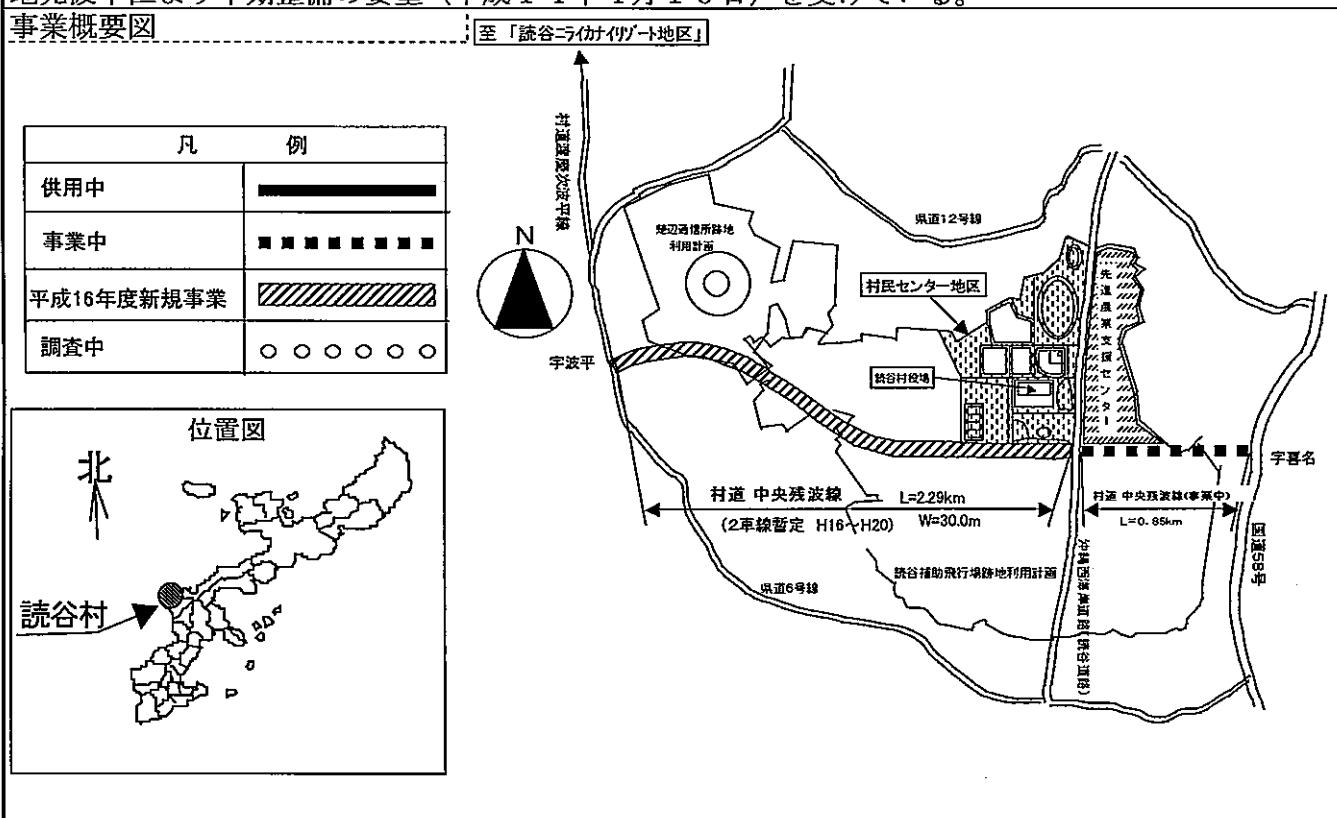
全体事業費	23億円		計画交通量	17,400台/日
費用対効果分析結果	B/C 15.5	総費用 22億円 (事業費: 21億円) 維持管理費: 1億円	総便益 342億円 (走行時間短縮便益: 337億円) 走行費用減少便益: 2億円 交通事故減少便益: 3億円	基準年 平成15年

事業の効果等

- 個性ある地域の形成（主要な観光地である読谷ライカイゾート地域へのアクセス向上が期待される。）
- 個性ある地域の形成（特別立法である沖縄振興特別措置法に基づく事業である。）
- 個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクトである「読谷補助飛行場跡地利用計画」を支援する。）

 他1項目に該当

関係する地方公共団体等の意見
村道中央残波線は、地域交通の円滑化、地域振興に重要な役割を果たすことが期待されており、地元波平区より早期整備の要望（平成14年4月10日）を受けている。



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。